

宅配車 バイオ燃料で

コープ さっぽろ 7日から十勝で実験

生活協同組合コープ さっぽろ(札幌)は二 十八日、バイオディー

ゼル燃料(BDF)を 使った宅配トラックの 走行実験を五月七日か

ら帯広地区で実施する と発表した。実験結果

を踏まえ、二〇〇九年 度からBDFでの走行 区域を全道に拡大する

方針だ。

BDF製造のエコE RC(帯広)の協力を

得て、帯広市と十勝管 内幕別、広尾両町で実

施する。帯広の宅配セ ンターに専用の給油ス

タンドを設け、〇九年

三月末までBDFでト ラック三台を走らせ

る。 また、十月からは全

道の組合員からBDF の原料になる廃食油を

店頭などで回収。店舗 で使用した廃食油と合

わせ、年間四十万リッ トルの回収を見込み、ト

ラック百二十台分の燃料に 当たる三十七万リッ

トを精製する。 D Fを精製する。

実験の目的は、宅配 事業で使用しているト

ラックの軽油消費量を 減らして、二酸化炭素

の排出量削減につなげ るため。エコERCが

同管内豊頃町に道内最 大級のBDF製造工場 を建設したため、帯広 地区での実施を決め

た。

二酸化炭素の排出量 削減については、トラ

ック三台による実験期 間中で三十六トを見込

む。回収した廃食油か らBDFを精製し、ト

ラック百二十台で利用 すれば、年間九百七十

トの削減が期待でき る。

またBDFは軽油よ り割安のため、燃料費

も年間五百万円程度削 減できる。同生協は、将

来的には札幌にBDF 製造工場を建設しても

らい、宅配事業のトラ ック全七百七十台で使

用したい」と話してい る。